

学校行事・生徒会活動・部活動

- (目標) ① 学校行事(学校祭・球技大会等)の活性化を通じた自主・自律の精神及び社会性の育成
 ② 生徒会活動による幅広い人間関係の構築
 ③ 部活動の活性化を通じた、自己実現及び積極的態度の育成

自主性の育成



- (主な方策) ① 生徒会役員が中心となり、全校生徒が各行事の企画・運営に取り組めるようにする。
 ② 学校行事の事前・事後にアンケートを実施し、今後の取組に生かす。
 ③ 新入生対象の部活動紹介を充実させる。各部活動で自主的な活動ができるよう工夫する。

- (数値目標) ① 「学校行事に自主的・積極的に取り組むことができた」と答えた生徒 90%以上
 ② 「生徒会活動は、生徒の幅広い人間関係の構築を図ることができた」生徒 85%以上
 ③ 部活動参加率85%以上。「部活動により学校生活が充実している」生徒80%以上

読書啓発

- (目標) 読書活動を通じた主体的に学ぶ生徒の育成

- (主な方策) ① 進路選択に必要な図書を充実し、「図書館だより」や壁面掲示で広報する。
 ② 国語科と連携し、毎学期図書館を利用した授業をすることで、読書啓発を図る。



- (数値目標) 1回以上図書貸出を利用した生徒の割合 70%以上

環境教育

- (目標) ① 学校内外の環境美化
 ② 環境問題に取り組む態度と実践力の育成

- (主な方策) ① 掲示物や環境委員からの声かけ等により、節電・節水について啓発する。
 ② 年3回「ゴミ0の日」を設定し、学校全体で環境問題を考えさせる。
 ③ チェックシート等を利用して、ゴミ捨て時に分別を正確にするよう指導し、資源の再利用を呼びかける。



- (数値目標) ① 節電・節水による 使用量前年度比 3%減
 ② 年3回「ゴミ0の日」を設定。環境委員以外の参加者毎回10名以上

「学校評価」今後の予定

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 5月17日(土) | PTA 総会で、今年度の評価計画を説明 |
| 5月下旬 | ホームルーム活動で、生徒に今年度の評価計画を説明 |
| 6月下旬～7月上旬 | 第1回授業評価アンケート |
| 12月上旬 | 第2回授業評価アンケート・学校評価アンケート(生徒、保護者、教職員) |
| 1月下旬～2月上旬 | 学校評価結果作成 |
| 2月下旬 | 学校評価結果公表(リーフレット・ホームページ) |



写真はドイツ姉妹校訪問時のものです

人間力の育成

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に格別の御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本校では「学校評価システム」をより活性化するために、本年度も『人間力の育成』という目標を設定し、その実現に向けて各担当がそれぞれの分野において計画を立てました。このリーフレットはその抜粋です。今年度は、この計画に沿って全教職員が協働して教育活動に取り組んでまいります。また、年度末にはその取組についての評価を行い、結果については公表する予定ですので、よろしく申し上げます。

なお、評価につきましては、アンケート調査などを通じて保護者の皆様の御意見をお聞かせいただき、次年度の改善へとつなげていきたいと考えていますので、御協力くださるようお願いいたします。

平成26年5月17日

徳島県立徳島北高等学校長

- 「学校評価システム」とは -



各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、めざすべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることをねらいとするものです。

生活習慣・交通安全指導

- (目標) ① 生活習慣(服装頭髮の整正, 時間厳守, 挨拶の励行)の確立, 健全な生活態度の育成
② 交通ルールの遵守, 交通安全意識の向上

- (主な方策) ① 月初めのクラス単位の服装頭髮点検, 学期初めの学年一斉指導を実施するとともに, 全職員による常時指導を徹底する。
② 遅刻指導週間を実施するとともに, 多遅刻生徒への指導を徹底する。
③ 生活委員を中心にした登校時の「あいさつ運動」を每学期実施する。
④ 登校指導を月2回以上実施する。交通事故の状況について, 共通理解を図る。

- (数値目標) ① 服装頭髮の再点検指導生徒 0.5%以下
② 遅刻者数 前年度比 5%減
③ 交通事故件数 前年度(15件)以下

交通マナーアップ



学力向上

- (目標) ① 主体的な学習習慣の確立
② 確かな学力の育成

- (主な方策) ① 進路説明会等で, 家庭学習の現状とその効果について説明し, 保護者に協力を要請する。
② 学習及び生活実態調査を年3回実施することで現状把握に努めるとともに, 面談等を通して保護者と連携しながら改善を図る。
③ 課題や確認テストを適宜実施し, 授業内容の理解, 定着を図る。
④ 補習の大切さを理解させ, 補習の出席率を高める。

- (数値目標) ① 平均家庭学習時間(塾等での学習を含む)「(学年)+1」時間以上の生徒60%以上
② 授業評価アンケート(全教科)において, 「学校の授業内容をよく理解している」生徒 80%以上
③ 補習欠席率 5%以内
④ 校外模擬試験における各科目の校内平均点 全国平均点以上

進路指導

- (目標) ① 主体的な進路決定・進路目標の設定をめざしたキャリア教育の推進
② 生徒の能力・適性・進路希望に応じた進路指導

- (主な方策) ① 生徒面談やHR活動, 進路説明会において, 適切な進路指導を行う。
② 1年次からオープンキャンパスやインターンシップなどの体験活動に参加する。
③ 就職希望者は就職ガイダンスや公務員セミナーなどに参加する。

- (数値目標) ① 2年生の11月末進路希望調査で, 進路目標が明確になっていると回答した生徒の割合80%以上
② 2年次修了までに, オープンキャンパス等への1回以上参加率80%以上
③ 就職希望者の就職未決定者数 ゼロ(卒業時)

進路の実現



心とからだの健康

- (目標) ① 心やからだの健康に関心を持ち, 課題解決に向けた実践力の育成
② 生徒が心身ともに充実した学校生活を送れるための支援の充実
③ 特別支援が必要な生徒に, 適切に対応できる支援体制の整備

- (主な方策) ① 生徒保健委員会の活動を通して保健意識の啓発・向上を図る。
② 教育相談日より「心のトビラ」を年4回以上発行する。
③ 毎週水曜日のカウンセリングデーの充実及び広報を図る。
④ 特別支援教育に関する研修会を持つことで, 連携しチームで支援する体制をつくる。

- (数値目標) ① 「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について, 「あてはまる」と答えた生徒・保護者ともに 80%以上
② 不登校傾向にある生徒への適切な対応・支援により, 休学する生徒 0.5%以内とする。



防災教育

- (目標) 自らの身を守るのみならず, 進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる人材の育成をめざした防災教育の推進

- (主な方策) ① 地震・津波対応避難訓練及び地震・火災対応防災訓練を年1回実施する。
② 講演会や防災学習を通じて, 全校あげての防災意識の向上を図る。

- (数値目標) 災害発生時の対応について理解している生徒 100%

国際理解教育

- (目標) ① 国際交流に積極的に取り組むことで, 外国のことに興味・関心を持った生徒を育成
② 英語及び異文化に浸る機会の提供

- (主な方策) ① 外部講師を活用し, 異文化講演会を実施する。
② 外国からの訪問団を積極的に受け入れる。
③ 海外語学研修の広報を充実させる。

- (数値目標) ① 異文化学習の機会を年3回以上提供
② 海外語学研修参加者 60名以上

コミュニケーション能力



人権教育

- (目標) ① 日々の教育活動を通じた生徒・教職員の人権意識の高揚
② 人権教育の充実を図り, 全職員でいじめ防止に取り組む。

- (主な方策) ① 主体的に参加・体験できるホームルーム活動(人権)を実施する。
② 人権教育研究授業を中心に教職員研修を充実させる。
③ 「人権委員会だより」を年8回生徒主体で作成し, 家庭にも配布するなど積極的に活用する。

- (数値目標) ① ホームルーム活動(人権)において, 「人権意識が高まった」生徒の割合 80%以上